

令和2年度事業報告書		事業所名	陽だまりの家	作成者	長沼 正幸	作成日	R3.3.31	
目標	本年テーマ	(計画) 利用者のニーズに合ったケアの提供(月間稼働率97%)						
		(評価) その人がその人らしい生活ができるよう支援できたが、稼働率は達成できなかった。						
基本処遇及び運営	■令和2年度処遇及び運営方針に対する評価							
	(計画)							
	①ユニットケアの基本である利用者様の生活リズムに合わせたケアの実践⇒ユニット機能の強化							
	②担当制を導入し、利用者様の意向、要望を聴き取り、細やかなサービスの提供に繋げる⇒個別ケアの確立							
	③多様な要望に柔軟かつ丁寧に対応することができる人材の育成							
	④多職種が情報を共有することで個々の利用者様へのサービスの統一を図る							
	(評価)							
	ユニット機能の強化や個別ケアについては新型コロナウイルス感染予防策として、今まで昼食やレクリエーション、行事等を施設全体で行っていたことを、ユニット毎に行うことによって、利用者一人一人と向き合うことが出来、利用者の要望にも迅速に対応することが出来ました。月間稼働率については、新型コロナウイルス対策による受入制限や長期利用者の突発的な入院により、達成できない月もありましたが、年間を通じて、しっかり受入れが出来ました。							
	■職員研修計画と実績							
	研修・セミナー	研修名称		参加実績		研修名称		参加実績
対人援助技術研修(実践)		不参加						
クレーム研修		不参加						
接遇セミナー		不参加						
感染症対策研修会		感染症対策委員長参加						
リスクマネジメント研修		中止						
(効果) 新型コロナウイルス流行に伴い、研修自体が中止であったり、感染予防のため、参加させることが出来ませんでした。年度末に、市主催の感染症対策研修会は、内容が新型コロナウイルス対策ということもあり、施設の感染症対策委員長に参加させ、周知を行いました。								
■会議・委員会計画実績・効果								
会議・委員会・内部研修	会議委員会名		実績・効果		会議委員会名		実績・効果	
	陽だまり会議		介護・相談・看護・栄養の主力に参加して頂き、施設運営の課題検討を行い、実践に結び付けた。		事故予防対策委員会		その月の事故やヒヤリの検証。1年通じて大きな事故がなく、運営できた	
	ユニットリーダー会議		各ユニットの問題点や情報を共有することで、職員の育成や利用者の処遇を改善できた。		感染症対策・身体拘束委員会		毎月1回、感染症(新型コロナウイルス含む)対策、身体拘束の把握、勉強会の実施を行った。	
	ユニット会議		利用者一人一人の24時間シートの見直し、ユニット内の問題点を把握、改善しました。		給食委員会		給食委託業者と話し合いし、献立に反映させ、安心な食事提供できた	
	行事担当会議		新型コロナウイルス対策として、密を避けながら、四季を感じられる行事を実施しました。					
	レク会議		レクリエーションで使用する物品の確認や新しいレクリエーションの開発を行いました。					

■災害訓練計画・実績				
防災・災害	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	6月	6月	震災訓練	消防設備会社立ち会いのもと実施。利用者、職員とも認識、共有できた。
	11月	11月	火災(夜間想定)	消防設備会社立ち会いのもと実施。スムーズに訓練を行うことができた。
■月別行事・内部研修報告				
行事・イベント	月 度			
	4月	花見会		
	5月	節句会		
	6月	運動会		
	7月	七夕会・夜間居酒屋		
	8月	夕涼み会(花火) 陽だまりカフェ		
	9月	敬老祝賀会		
	10月	ミニ秋祭り		
	11月	感染症予防		
	12月	クリスマス会 忘年会(夜間居酒屋)		
	1月	新年会		
	2月	節分会		
	3月	認知症について ひなまつり会		
<p>(総評) 行事については、外出行事やこども園、地元高校生との交流会は、新型コロナウイルス予防のため、中止となりましたが、そのほかは、密を避けながら、計画通り行いました。感染予防を図りながら、今まで施設全体で行っていたことをユニット単位で行うことにより、より深く利用者に関わることが出来、利用者、職員とも良かったと思います。内容についても、季節感を出しながら喜んでいただける行事を提供できました。内部研修については、職員に講師になってもらい、少人数にて何回かに分けて行い、レベルアップを図りました。</p>				